ミニカセット レコーダ

Mini Cassette Recorder

品番 RQ-L400

取扱説明書

Operating Instructions

Panasonic

■取扱説明書は、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

■あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

保証書別添　上手に使って上手に節電

このたびはパナソニック「ミニカセットレコーダ RQ-L400」をお求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全にご使用いただくために

本機内部には絶対に触れないでください。

- 改造したり、不用意に内部を触ると、故障の原因になります。

風呂場など湿気の多い所やほこりの多い所では使用しないでください。

高温になる所に放置しないでください。

- 夏季の閉めきった自動車内(100℃にも達することがある)や、長時間直射日光の当たる所、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください。
- 60℃以上の高温になると、キャビネットが変形・変色したり、故障することがあります。

定期券やキャッシュカードなどの磁気カード類や時計などをスピーカに近づけないでください。

- スピーカのマグネットの影響でカードが使えなくなったり、時計が狂ったりすることがあります。

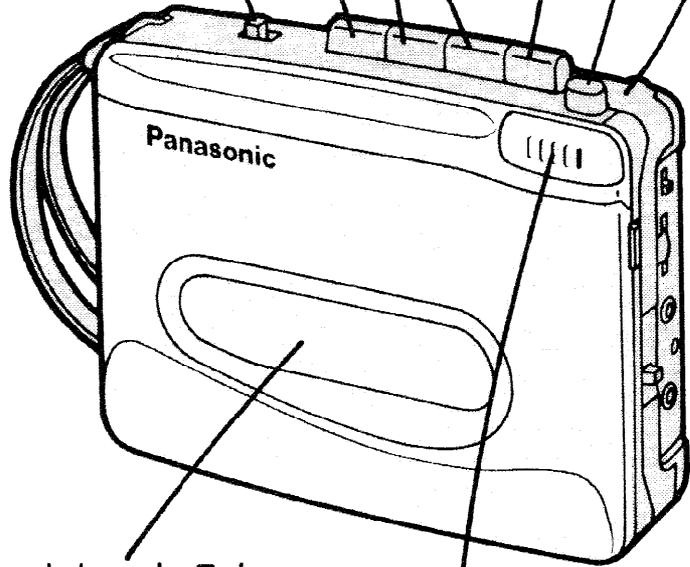
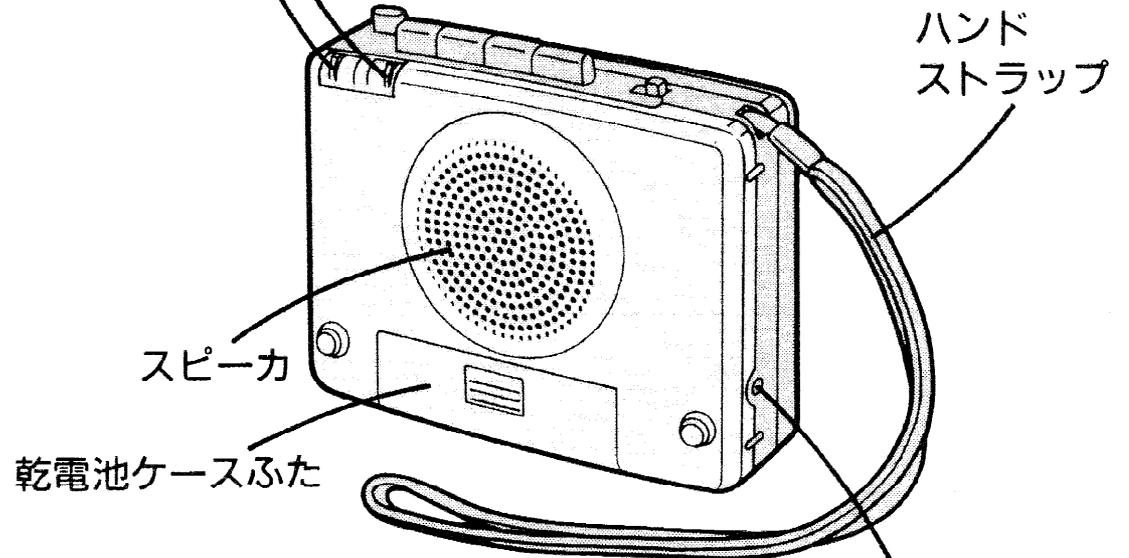
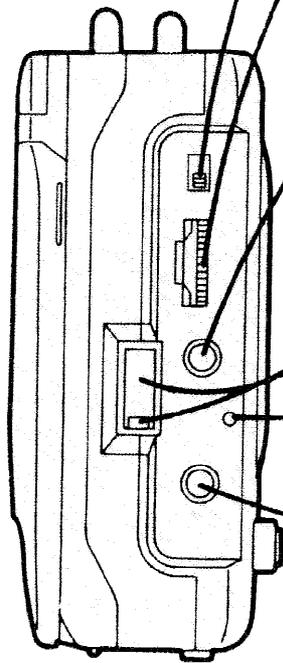
落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

露付き現象について

本機を0℃前後から温かい場所へ急に移したとき、正常に動作しないことがあります。これは、本機の動作部に露が発生したためで、60分程で正常に戻ります。

もくじ

各部のなまえと働き

走行方向切換つまみ（10ページ）
再生ボタン
早巻ボタン
停止ボタン
録音ボタン
入力チェック
インジケータ
Panasonic
カセットふた
内蔵マイク
ポーズ（一時停止）つまみ
テープ走行を一時停止します。（10ページ）
ボイスオペレーション
VOS/早聞きつまみ
ボイスオペレーション
VOS録音するとき"入"にします。（16ページ）
再生時には早聞きつまみになります。（10ページ）
ハンド
ストラップ
スピーカ
乾電池ケースふた
DC INジャック
（DC IN 3V）

マイク感度切換つまみ（13ページ）

音量/VOS（ボイスオペレーション）レベル調整つまみ

再生時、録音モニタ時には音量の調整、VOS（ボイスオペレーション）録音時（16ページ）にはVOS（ボイスオペレーション）レベルの調整をします。

マイクジャック

外部マイク（別売り）を接続します。

テープカウンタとリセットボタン

テープの走行とともに数字が変わります。うら面の録音、再生のときは、カウンタの動きも逆になります。リセットボタンを押すと“000”に戻ります。

OPR（オペレーション）/ BATT（バッテリ）インジケータ

テープ走行中、点灯します。

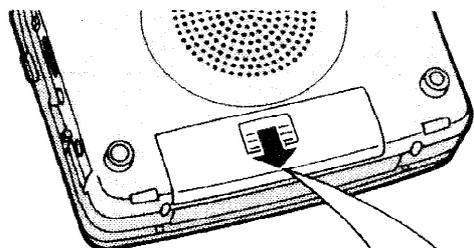
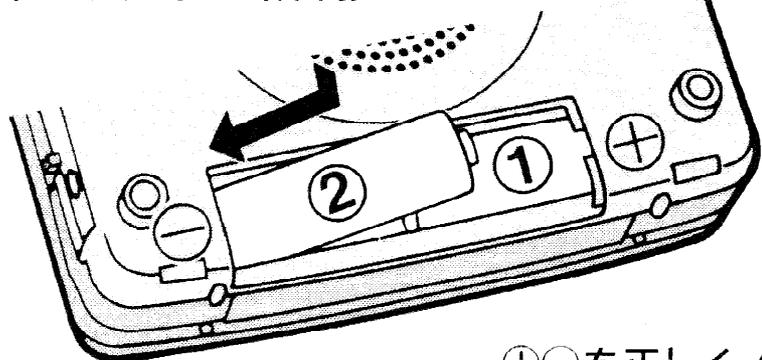
乾電池が消耗すると、暗くなり、消灯します。

（イヤホン）ジャック

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

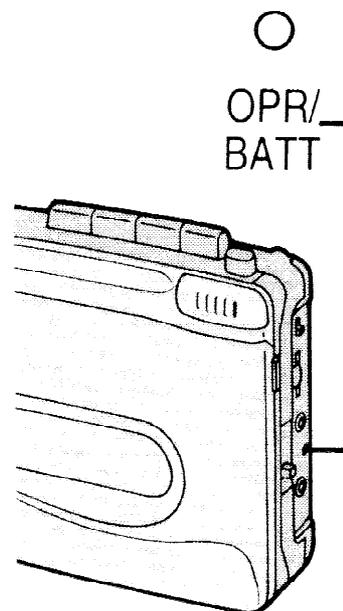
電源について

乾電池で使用するには

乾電池ケースふたを開け、番号順に入れます。

取出しかた

②の乾電池を⊖方向に押しながら引上げます。

取替時期は

音がひずんだり、小さくなったり、動作に異常が現れたときは、全部新しい乾電池と取替えてください。テープ走行中のOPR（オペレーション）/BATT（バッテリ）インジケータの状態が、目安になります。

明るく点灯している

●そのまま使えます。

点灯しているが暗い/消えている

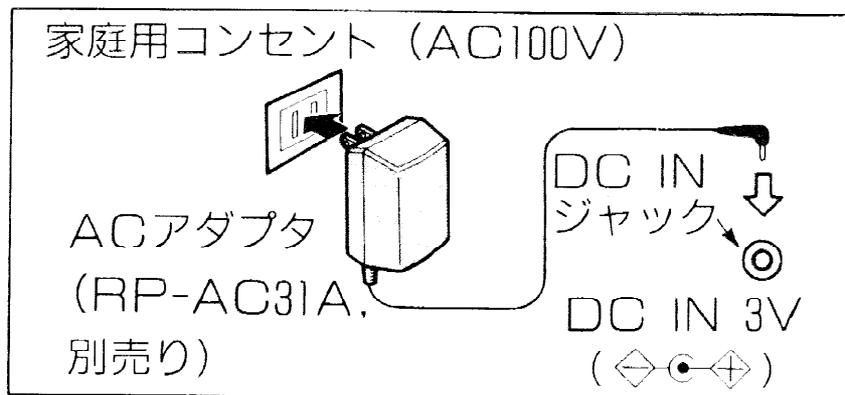
●乾電池は消耗しています。

乾電池は使いかたを誤ると破裂や破損、液もれのおそれがあります。

次のことは必ずお守りください

- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- 同じ種類の乾電池を使用してください。
- 乾電池は充電式ではありません。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しくいれてください。
- 火の中への投入や、ショート（短絡）、分解、加熱しないでください。
- 長時間使用しないときは、乾電池の漏液による損傷を防ぐため、乾電池を取出しておいてください。

家庭用電源(AC)で使用するには

ACアダプタ（別売り）を接続すると、家庭用電源で使用できます。

- ACアダプタは必ず指定のアダプタをご使用ください。市販のアダプタには極性が反対のものがあります。
- 乾電池電源で使用するときは、必ず本機側のプラグをはずしてください。そのままでは乾電池電源に切換わりません。
- 本体とACアダプタは少し離してお使いください。近づけ過ぎるとハム（ブーンという音）が出ることがあります。

テープを聞くには

本機では、録音、再生共ノーマルタイプのテープを使用してください。

走行方向
切換つまみ（10ページ）

2

停止ボタン

早巻ボタン

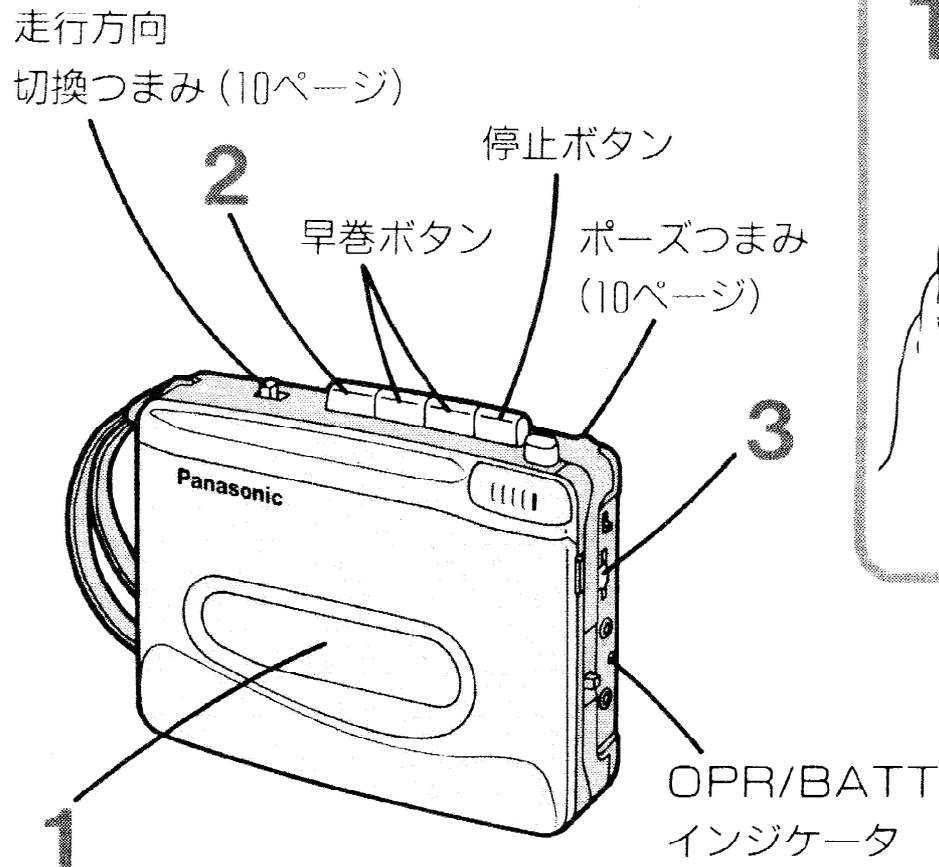
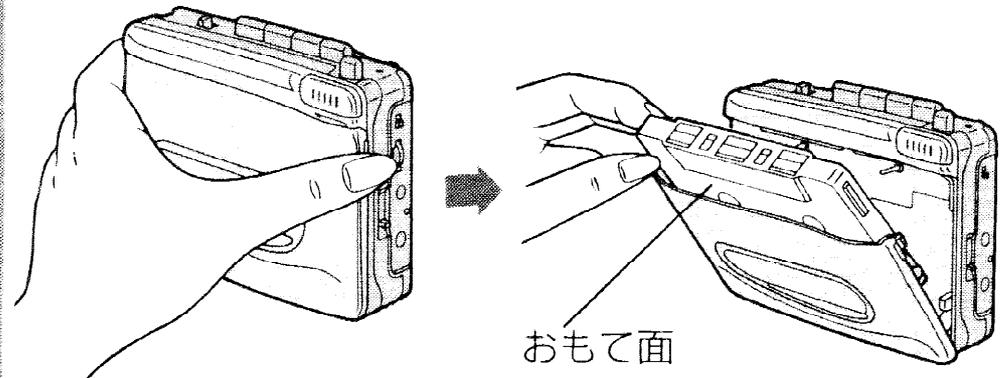
ポーズつまみ
（10ページ）

3

1

OPR/BATT
インジケータ

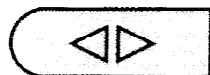
(確認)

ポーズつまみは“切”になっていますか？

1 テープを入れる

本機はオートリバース機能を備えています。

おもて面から再生を始めると、両面の再生ができます。

うら面から再生を開始したときは、うら面だけを再生して停止します。

2 再生開始

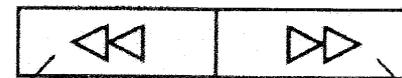
押す

OPR/BATT（オペレーションバッテリ）インジケータが点灯します。

3 音量を調整する

音量/VOS

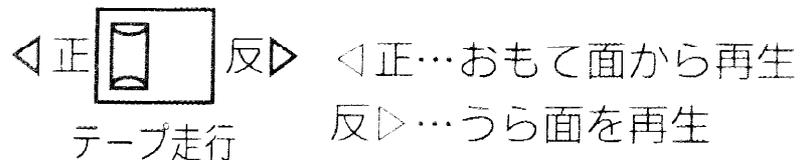
■**再生を止めるには**

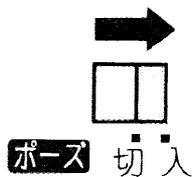
停止ボタンを押します。

早送り・巻戻しをするには

停止中に、早巻ボタンを押します。

再生中に早巻ボタンを押すと、キュルキュルというモニタ音を聞きながら聞きたいところをさがすことができます。指を離すと、その位置から再生が始まります。(キュー・レビュー機能)

- **早送り、巻戻し中に、もう一方の早巻ボタンを押込むことはできません。必ず停止ボタンを押してから操作してください。**
- **早送り、巻戻し中は、走行方向切換つまみを切換えないでください。**

テープの走行方向を変えるには

- **うら面の再生時、走行方向切換つまみを切換えないでください。おもて面に切換わり、オートストップします。**

テープ走行を一時停止させるには

ポーズつまみを“入”にすると、テープの走行を一時停止させることができます。

- **長時間走行を停止させるときは、必ず停止ボタンを押してください。**
- **再生、録音の前には、ポーズつまみが“切”になっているかをご確認ください。**

テープを早く聞くには

早聞きつまみを“入”にすると、テープスピードを早くすることができます。
録音内容を早く聞きたいときに便利です。

オートストップ

テープがうら面の終端まで来ると、押込んでいたボタンがもとに戻り、テープ走行が停止します。(走行方向切換つまみはおもて面に戻ります。)

- **早送り・巻戻しのときは、働きません。必ず停止ボタンを押してください。**

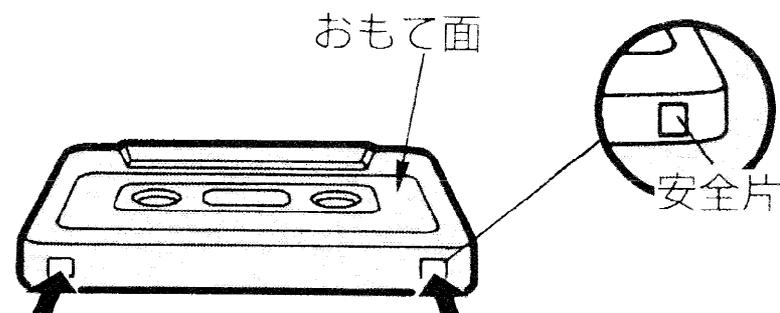
カセットテープについて

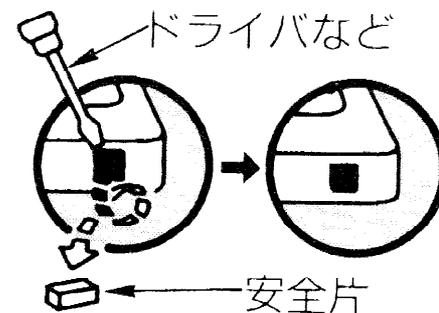
ノーマルタイプのカセットテープを使用してください。クロームタイプやメタルなど他のテープを使用しますと、本機の性能を十分発揮できないことがあります。

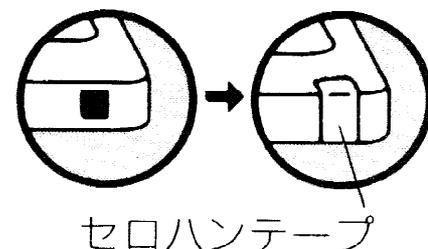
■90分を越えるテープについて

長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻込まれることがありますので、ご注意ください。

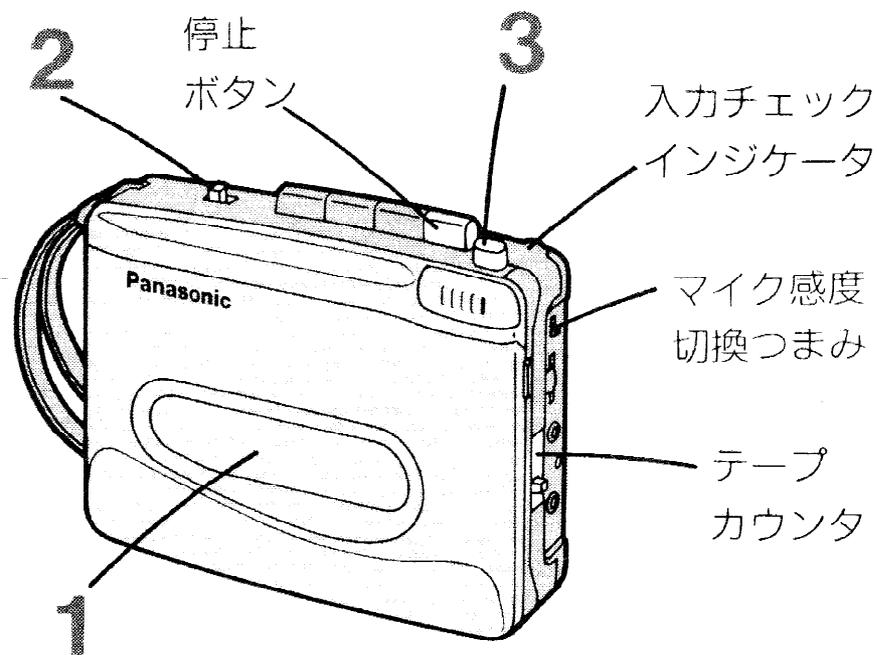
■誤って消さないために

カセットテープにはおもて面(A面)とうら面(B面)に誤消去防止のための安全片がついています。

●誤消去を防ぐには

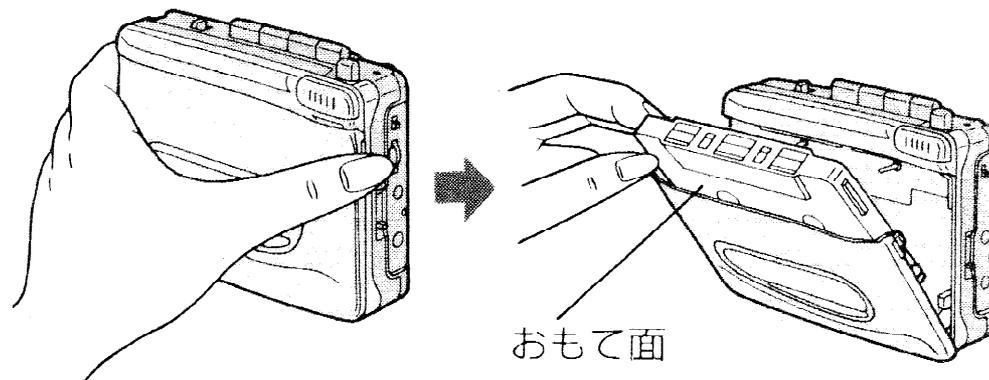
ドライバなどで安全片を折取る。

●再び録音するには

セロハンテープを貼って穴をふさぐ。

録音するには

自動録音調整回路が働きますので、録音レベルの調整は必要ありません。

このほかに、音声を感知して自動的に録音を開始する方法があります。(16ページ)

確認

ポーズつまみ、VOSつまみが"切"になっていますか?
マイク感度が"高"になっていますか?
リーダーテープは巻取っていますか?(15ページ)

1 テープを入れる

本機は、オートリバース機能を備えています。
おもて面から録音を始めると、両面の録音ができます。
うら面から録音を開始したときは、うら面だけを録音して停止します。

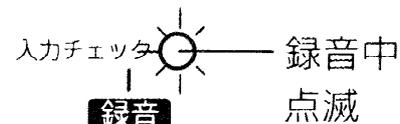
本機では、録音、再生共ノーマルタイプのテープを使用してください。

2 録音面を設定する

(10ページ)

◁正…おもて面から録音
反▷…うら面を録音

3 録音開始

押す

再生ボタンも同時に押込まれます。

■録音を止めるには

停止ボタンを押します。

マイク感度を変えるには

マイク感度

通常は“高”でご使用ください。周囲の雑音が気になるときは“低”にして、マイクを口もとに近づけて録音してください。

ヒント：

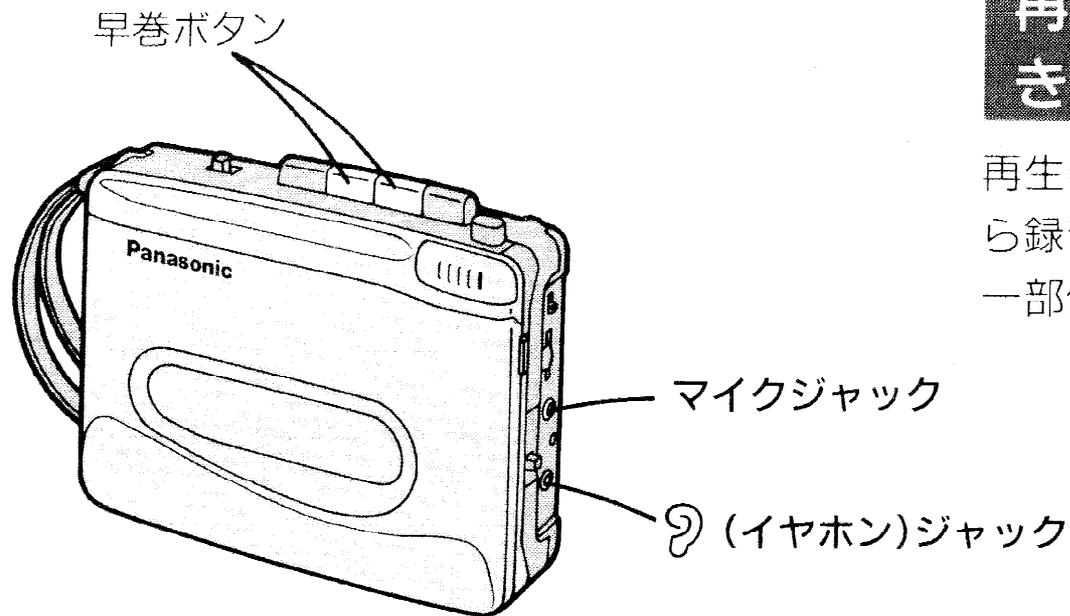
録音中、テープカウンタの数字を記録しておくと、再生時に便利です。

録音する音声の大きさが適当なときは、入力チェックインジケータが点滅します。確実に録音できているかどうかの目安になります。

録音した内容を、すぐに聞きたいときは

録音中に、早巻ボタン(巻戻し側)を押すと、録音ボタンだけがもとに戻り、テープが巻戻されます。指を離すと、いま録音した内容を聞くことができます。

再生中、一部を録音し直したいときは

再生中に録音ボタンを押込むと、その位置から録音することができます。録音したものを一部修正したいときに便利です。

モニタについて

録音している音声を、付属のイヤホンで聞くことができます。
音量調整つまみで、モニタの音量を調整してください。

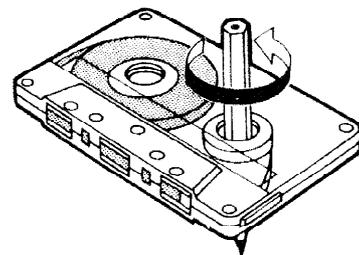
- **イヤホンをマイクに近づけすぎると、ハウリング（ピーという音）が起こります。このようなときは、マイクとイヤホンを離すか、音量調整つまみをしぼってください。**
- **VOS（ボイスオペレーション）録音中は、モニタの音量を変えると、VOS（ボイスオペレーション）レベルも変わります。**

録音を消すには

録音済みのテープに録音すると、前の録音は消されます。すべての録音を消したいときは、消去用プラグ（別売り）をマイクジャックに差込んで、録音状態でテープを走行させてください。

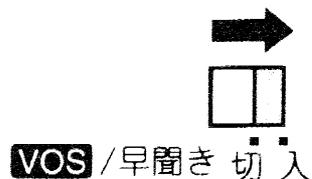
リーダーテープについて

テープの両端にある、録音できない部分のことです。

リーダーテープを巻取るには

音声を感知して録音を開始させるには

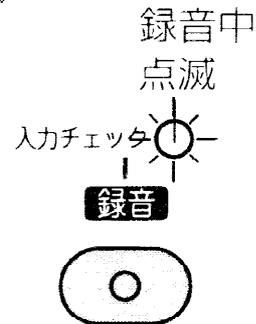
マイクに入る音声の大きさ(VOSレベル)（ボイスオペレーション）を感知して、自動的にテープを走行、停止させる機能です。
マイクに音声が入っているときテープが走行し、静かになると約4秒後に止まります。

テープを入れ、マイク感度を“高”にしてから操作します。

1 VOS録音モードにする（ボイスオペレーション）

VOS／早聞き　切　入

“入”にする

2 録音開始

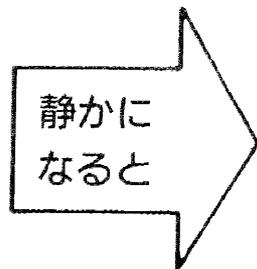
押す

再生ボタンも同時に押込まれます。

3 VOSレベルを調整する（ボイスオペレーション）

音量/VOS

音量/VOSレベル（ボイスオペレーション）調整つまみが“0”位置では録音されません。

●音声が入ってテープがスタートしたとき、立上がり部分の音声がわずかに途切れることがあります。

〈VOS録音〉

一時停止状態になります。

音声を感知すると、録音を再開します。

■録音を終えるには

停止ボタンを押します。

- 再生するときは、VOS/早聞きつまみを“切”にしてください。
  そのまま再生すると早聞きになります。

ご注意

- マイク感度を“低”にしたり、外部マイク（別売り）を接続してVOS録音するときには、右表とはレベルが変わります。
- VOS録音中は、モニタの音量を変えると、VOSレベルも変わります。

VOSレベルの調整

周囲の雑音や声の大きさなどを考慮して最適位置を決めてください。

音量/VOSレベル	調整のめやす（マイク感度“高”のとき）
4 ↔ 7	**通常はこの位置に合わせて録音してください。**
1 ↔ 3	大きな音声だけ録音します。小さい音声だと感知されず、録音できないことがあります。
8 ↔ 10	小さい音声も録音します。周囲の雑音などでもテープが止まらず録音されることがあります。

お手入れ

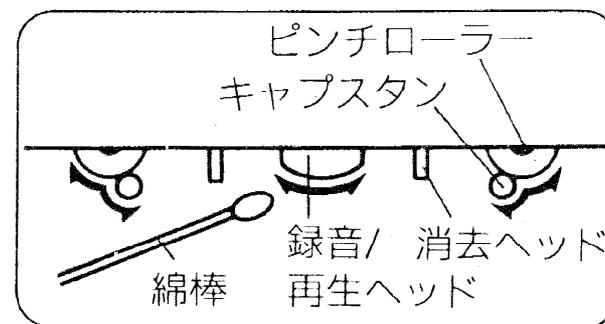
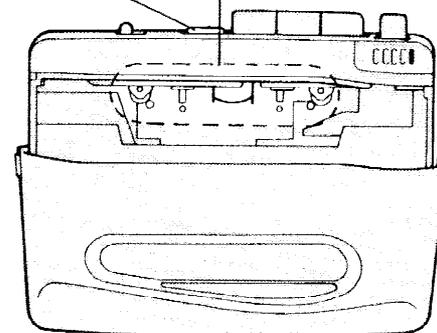
ヘッド部のお手入れ

良い音でお楽しみいただくために、ときどきヘッドなどを綿棒かクリーニングキット（RP-919,別売り）できれいにしてください。

- **ヘッドにドライバなどの鉄類や磁気を帯びたものを近づけないでください。性能が悪くなります。**

本体のお手入れ

本体が汚れたときは、乾いた布でふいてください。
汚れがひどいときは水で布をしめらせてふいた後、からぶきしてください。

- **ベンジンやアルコール、シンナーなどの溶剤でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**
- **化学ぞうきんを使用するときは、その注意文にしたがってください。**

ご注意

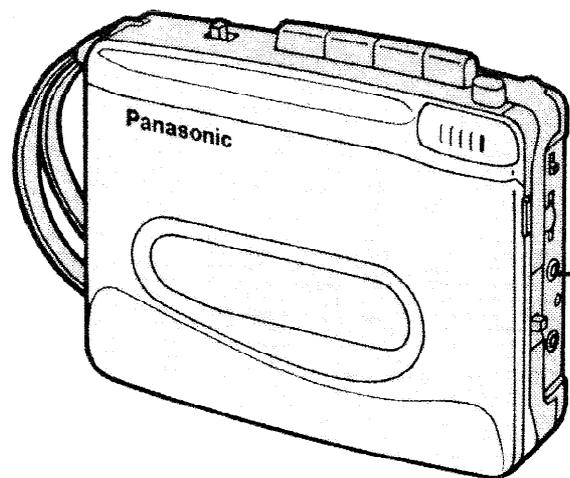
- **本機には絶対に注油しないでください。注油しますと故障の原因になることがあります。**

故障!?と思う前に

修理を依頼する前に、もう一度次のことを確認したのち、それでもなお異常の場合には、お買い上げの販売店へご相談ください。

現象	確認方法
テープが走行しない。	●乾電池が消耗していませんか? ●乾電池の入れかたが間違っていませんか? ●乾電池電源に切換えるとき、ACアダプタのプラグを本体からはずしていますか? ●ポーズつまみが“入”になっていませんか?
VOS(ボイスオペレーション)録音時、テープが止まらない。	●音量/VOSレベル調整つまみが“10”近くになっていませんか?
VOS(ボイスオペレーション)録音時、テープが走行しない。	●音量/VOSレベル調整つまみが“0”近くになっていませんか?
早送り・巻戻しが遅い、回転ムラ。	●乾電池が消耗していませんか? ●カセットテープの回転が重くありませんか?
再生音が小さい。 録音・再生音が割れる。高音が出ない。	●ヘッドが汚れていませんか? ●乾電池が消耗していませんか?
録音ボタンが押込めない。	●本機にカセットテープが入っていますか? ●カセットテープの安全片を折っていませんか?

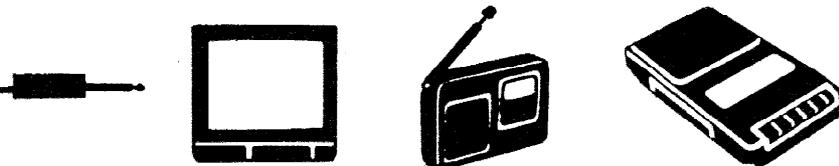
●本機を他のラジオやテレビなどの電気機器の近くで使用すると、互いに干渉しあって雑音が入ることがあります。

別売りアクセサリ

外部マイクから録音するとき

● ネクタイピンマイクロホン…RP-VC3

● コンパクトマイクロホン … RP-VC60
RP-VC120

テレビ、ラジオや他のテープレコーダから録音するとき

● マイク入力コードM …… RP-CA14A

電話機の声を録音するとき

● テレホンピックアップ………RP-WA1

その他の別売りアクセサリ

● ACアダプタ ……………RP-AC31A
● ヘッドクリーニングキット……RP-919
● 消去用プラグ㋚ …………… QJP0959L
(㋚はサービス部品扱いです。)

アフターサービス

保証書（別に添付してあります。）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記載を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間―お買い上げ日から1年間

修理を依頼されるとき

「故障!?と思う前に」の項にしたがって調べていただき、直らないときには次の処置をしてください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れいりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にご連絡ください。

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にご連絡ください。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。

アフターサービス等について、おわかりにならないときは

お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にお問合わせください。

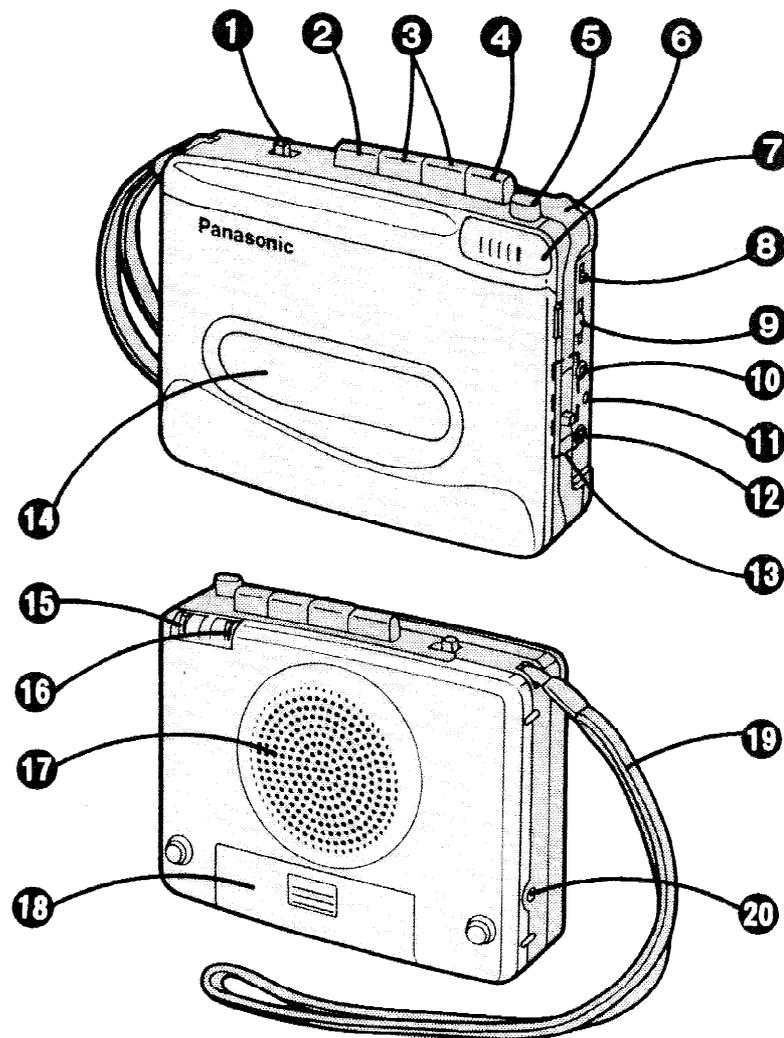
定格

トラック方式：モノラル
録 音 方 式：交流バイアス
消 去 方 式：マグネット消去
モニタ方式：バリアブルサウンドモニタ方式
周波数範囲：ノーマルテープ;250〜6000Hz(EIAJ)
入 力 端 子：マイク;0.25mV(200〜600Ω)
出 力 端 子：イヤホン;8Ω
ス ピ ー カ：4.5cm丸型 8Ω
実用最大出力：390mW(EIAJ)
(乾電池使用時)
電池持続時間：約3.5時間(EIAJ録音時)
約3時間(EIAJ再生時VOL.中央付近)
(付属ナショナル乾電池ネオ《黒》(R6P)使用時)
電 源：乾電池;DC3V(単三形乾電池"R6/LR6"2本使用時)
AC;100V 50/60Hz(別売りACアダプタRP-AC31A使用)
最大外形寸法：118(幅)×93(高さ)×38(奥行)mm(EIAJ)
重 量：約316g(乾電池を含む)
★この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。

Operating Instructions

NAMES AND FUNCTIONS OF CONTROLS

1. Direction selector
2. Playback button
3. Fast buttons
4. Stop button
5. Record button
6. Record indicator
7. Built-in microphone
8. Microphone sensitivity switch
9. Volume/VOS level control
10. Microphone jack
11. Operation/battery check indicator
12. Earphone jack
13. Tape counter and reset button
14. Cassette compartment cover
15. Pause switch
16. VOS/fast play switch
17. Speaker
18. Battery compartment cover
19. Hand strap
20. DC input jack (DC IN 3 V ⊖-⊙-⊕)

Thank you for purchasing this unit.
For optimum performance, follow these operating instructions carefully.
Also, please see the illustrations put in the Japanese instructions.

BATTERY OPERATION

(Refer to page 6.)

1. **Open the battery compartment cover.**
2. **Insert two "AA" size (R6P/UM-3) batteries into the battery compartment. Make sure that the batteries are installed with proper polarities.**

Battery life

When the batteries are weak, the operation/battery check indicator will dim or turn off during operation, replace the batteries.

TAPE PLAYBACK

(Refer to page 8.)

1. **Insert a cassette.**
2. **Press the playback button.**
   The operation/battery check indicator will illuminate.
3. **Adjust the volume.**

To stop the playback, press the stop button.

■ Fast forward and rewind

The tape will rapidly advance in the forward or reverse direction when one of the fast buttons is pressed.

If the fast buttons are partially pressed during playback, the recorded sound on the tape can be monitored at a fast speed.
When the button is released, playback will resume.

- When the tape reaches the end by pressing one of the fast buttons, the tape movement stops, but the unit is not turned off. Do not leave the set in this condition. Be sure to press the stop button.

■ Auto reverse

When the tape comes to the end of its travel, the auto reverse system functions, and the tape direction changes automatically to start playing the opposite side of the tape.

■ Manual reverse

Select the playback side, forward or reverse, by setting the direction selector to "◁正" or "反▷".

■ Pause switch

The tape movement can be stopped temporarily by setting the pause switch to the " 入 " position. The tape movement will start again when the " 切 " position. Be sure never to set the pause switch to the " 入 " position for a long period of time to prevent deformation of the pressure roller.

■ Fast playback

To listen to a tape at a fast playback speed, set the fast play switch to the " 入 " position.

■ Auto-stop

During playback or recording, when the tape reaches its end on the reverse side, the automatic stop system will release the playback and record buttons and automatically turn the unit off.

RECORDING

(Refer to page 12.)

1. **Insert the cassette.**
2. **Press the record button.**
   The record indicator will flash.

To stop the recording, press the stop button.

■ Microphone sensitivity switch

" 高 (HIGH)" position . . . When recording sounds over a wide range.

" 低 (LOW)" position . . . When recording sounds close to the built-in or external microphone.

■ Quick review

The review operation is possible during recording by pressing the one of the fast button to rewind, only the record button will be released and play-back will begin.

■ Edit function

Recording can be started during playback by simply pressing the record button when using cassettes with tabs in place.

■ Monitoring

The monitor system enables you to listen, through the earphone to the sound as it is being recorded. The monitor level can be adjusted by the volume/VOS level control.

■ Erasing

Recorded sounds on the tape are automatically erased when a new recording is made.

VOS RECORDING

(Refer to page 16.)

VOS (Voice Operation System recording)
When recording using the VOS function, the sound is recorded automatically so there is no tape waste.
Then the VOS switch is set to " 入 ", the tape runs when sound is picked up by the built-in or external microphone and when no sound is picked up, tape stops running automatically (about 4 seconds later).

1. **Set the VOS switch is set to " 入 ".**
2. **Press the record button.**
3. **Adjust the voice operation level using the volume/VOS level control.**
   The flashing of the record indicator indicates that the tape is running and recording is being made.

MAINTENANCE

(Refer to page 18.)

SPECIFICATIONS

Track system:	2 track, monaural
Recording system:	AC bias
Erase system:	Magnet erase
Monitor system:	Variable sound monitor
Frequency range:	250–6000 Hz (Normal)
Jacks:	
Input;	MIC; 0.25 mV (200–600Ω)
Output;	EARPHONE; 8Ω
Speaker:	4.5 cm, 8Ω
Power output:	390 mW
Power requirement:	Battery; 3 V [two included "AA" size (R6P) batteries]
Dimensions:	118 (W)×93 (H)× 38 (D) mm
Weight:	316 g (with batteries)

Specifications are subject to change without notice.

Please consult the shop at which you have purchased the set about warranty and service.

便利メモ（おぼえのために、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	RQ-L400
販売店名	電話（　　）　－		
最寄りのご相談窓口	電話（　　）　－		

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号　☎(06)909-1021

Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd. Audio Division

1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571 ☎(06)909-1021

RQTK0001-S　F0992D0

Printed in Japan